



なぜ、カラスの「ごみ被害」は起きるのか？

原因を知らなければ、対策することはできません。まずは、市街地で起きているカラスのごみ被害の原因を知りましょう！



市街地はカラスにとって餌の楽園

市街地に暮らすカラスの餌は、家庭ごみ（残飯）です。家庭からでる残飯の量は、自然界のカラスの餌に比べて5倍も多いのが現状です（表1）。

それだけではありません。カラスの大好きな「脂肪分」に注目すると、家庭からでる残飯の脂肪分は、自然界の餌の2倍も多いことが分かります（表2）。市街地はまさに、「カラスの餌の楽園」なのです。

表2

住宅地は「脂肪」も好条件

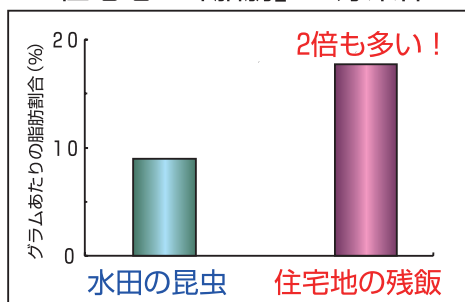
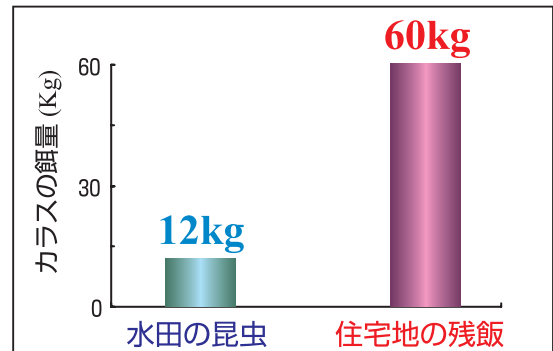


表1

市街地のカラスの餌は、自然界の5倍！！



このように、カラスのごみ被害が起きる原因は、市街地が「カラスにとって餌の楽園」となっていることにあります。よって、しっかりとカラス対策を行い、カラスを寄せつけないことが大切なのです。



「カラス対策の落とし穴」にご用心を！

カラス対策を行う上で、最も注意しなければならないことは「カラス対策の落とし穴」です。この「落とし穴」にはまってしまうと、せっかくのカラス対策も全く効果を発揮できません。

写真は、「カラス対策の落とし穴」にはまってしまったごみステーションの様子です。ごみステーションの左下に「小さなすき間」があり、カラスは自由に入ることができます。これでは、せっかくのカラス対策ネットも効果を発揮できません。

人間にとっては「小さなすき間」でも、カラスにとっては「大きなすき間」です。あなたのごみステーションは、「カラス対策の落とし穴」にはまっていませんか？もう一度、チェックしてみてください。

カラス対策を成功させるためには、「落とし穴をなくすこと」が最も大切です。

カラス対策の落とし穴





カラスのごみ被害は、必ず解決できます！

兵庫県立人と自然の博物館
研究員 布野 隆之

みなさん、カラスがごみを漁る問題は、必ず解決できることをご存じですか？

実際に、新潟市の五十嵐地区や青山地区では、カラスのごみ被害がほとんど起きません。限りなく「被害ゼロ」なのです！

では、なぜ、カラスのごみ被害は起きないのでしょうか。その秘訣は、「カラス対策の落とし穴」(2ページの写真 参照) から脱却したことにあります。3ページの図1は、新潟市の五十嵐地区や青山地区でのカラス対策の様子です。

形が自由に変形し、落とし穴の出来やすい防鳥ネットから、ボックス型の簡易ごみステーションに切り替えることにより、見事に落とし穴はなくなっています。このように「落とし穴を上手になくすこと」が、カラスのごみ被害を「ゼロ」にするコツなのです。

次に、「落とし穴を上手になくす方法」をいくつか紹介したいと思います。図2は、伊丹市家庭ごみステーションカラス等対策研究会が実施した実験の結果です。

防鳥ネット



形が自由に変形するネットでは、ごみの山に「すき間」がしやすい。

このため、新潟市も「カラス対策の落とし穴」に悩まされていた。

ボックス型 ごみステーション



ボックス型のごみステーションを導入したところ、「すき間」は全くできなくなった。

現在の新潟市は「カラス対策の落とし穴」を見事に解決している。

図1 新潟市におけるカラスのごみ被害対策 (写真はイメージ)

①ボックス型 ごみステーション



「効果があった」
の回答100%

②チェーンおもり付き ネット



「効果があった」
の回答87.5%

③畦板とネットの並用



「効果があった」
の回答100%

④マチ付きネット



「効果があった」
の回答100%

どれも
効果があるよ



モデル事業アンケート結果より (わからないの回答を除く)

図2. カラス対策の落とし穴をなくす方法

これらの結果から分かるように、②チェーンおもり付きネット、③畦板とネットの並用、④マチ付ネットなど、いくつかの方法にてカラスのごみ被害をほぼ「ゼロ」にする効果が認められています。つまり、新潟市のようにボックス型ステーションに切り替えなくても、普段使用しているネットに少しの工夫を加えるだけでも十分に効果は上がるのです！

今回ご紹介した「落とし穴を上手になくす方法」は、いずれも安価な上、容易に導入することができます。カラスのごみ被害「ゼロ」に向け、みなさんも、ネットに少し工夫してみませんか。